

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
総括研究報告書

患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と
課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

研究代表者 藤森 麻衣子 国立がん研究センター がん対策研究所
サバイバーシップ研究部 支持・緩和・心のケア研究室 室長

研究要旨

2023年度～2024年度に高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップ体制の実態把握、課題点の抽出のため、医療保険ビッグデータ解析、スコーピングレビュー、アンケート調査、インタビュー調査を実施し、2025年度に患者・市民・多職種専門家グループによる対応策の提言、および日本版「高齢がんサバイバーシップケアプラン」の開発を行う。その結果、がん診療連携拠点病院等（以下、拠点病院）を中心とした各医療圏で個別に実装可能な対応策の提言が可能となり、高齢がんサバイバーが望んだ場所で適切な医療・ケアを受けられる。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

安藤 雄一 名古屋大学医学部附属病院
化学療法部 教授
小寺 泰弘 名古屋大学大学院医学系研究科
消化器外科学 教授
長島 文夫 杏林大学医学部腫瘍内科学 教授
津端 由佳里 島根大学医学部附属病院
呼吸器・化学療法内科 講師
梅垣 宏行 国立大学法人東海国立大学機構
名古屋大学 未来社会創造機構(医) 教授
山本 寛 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療
センター 呼吸器内科 部長
山中 崇 東京大学医学部附属病院 特任教授
寺田 智祐 京都大学医学部附属病院 教授
鈴木 美穂 慶應義塾大学看護医療学部 教授
島津 太一 国立がん研究センター がん対策研究所
行動科学研究部 室長
松岡 歩 国立がん研究センター がん対策研究所
サバイバーシップ研究部 研究員
内富 庸介 国立がん研究センター がん対策研究
所 サバイバーシップ研究部 部長

A. 研究目的

高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップ体制の実態把握、課題点の抽出を行い、患者・市民・多職種専門家グループによる提言、および支援資材開発につなげる

B. 研究方法

2023年度は、研究①医療保険ビッグデータ解析、研究②スコーピングレビューを実施し、研究③拠点病院、地域包括支援センター等へのアンケート調査のため、日本の高齢がんサバイバーにおける「連携」の課題について先行研究を整理し、アンケート項目の準備を行った。
(倫理面への配慮)

研究①②③ともに「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の対象外

C. 研究結果

研究①医療保険ビッグデータ解析については、2つの仮説を設定し変数を定義したうえで、(株)DeSCヘルスケアの保有する保険者データのad hoc解析中である。研究②については、高齢がんサバイバーにおける併存症の生存アウトカムへの影響についてスコーピングレビューを実施した。研究③については、高齢がんサバイバーにおける「連携」の課題について先行研究を整理し、アンケート項目を作成中である。

D. 考察

現時点では、研究①はデータ解析中、研究③はアンケート作成中であるため、考察は困難である。研究②では、国内外の研究のレビューから、高齢がんサバイバーにおける併存症マネジメントの重要性が改めて示唆された。

E. 結論

これらの結果に基づいて、最終年度の提言・支援資材作成を行う予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし